

December 16, 2009

JAWIC

Seattle News

11月の住宅着工、前月比+8.9%

商務省発表によれば 11 月の住宅着工は年率 57.4 万戸（季節調整）で、前月に比べ 8.9%の増加、しかし前年同月の 65.5 万戸に比べれば-12.4%。増加の大きな要因は前月極端に落ち込んだ集合住宅が+67%となったこと。一戸建ては 48.2 万戸で 2006 年 3 月以来初めて前年同月比でプラスとなった。先行指標となる建築許可数も 58.4 万戸と前月比で+6.0%となったが、前年同月比では-7.3%。うち一戸建ては 47.3 万戸で前月比+5.3%、前年同月比+12.1%。

住宅建築および販売は住宅減税の拡充延長を受けて徐々に回復しているように見えるが、これがどれほど底固いものであるか、やや不安が残るところ。現在、失業者が雇用統計では 1500 万人以上おり（11 月失業率 10.0%）、これに加えて、諦めて就職活動を行っていない者、とりあえずのパートタイマーなどを含めると非公式な失業率は約 17%といわれている。雇用が回復しなければ個人消費が落込み、フォクロージャーが増加し、住宅部門の足枷となる。